

## ① 職場の概要（仕事の内容）

道路や河川、港湾、空港の整備や広域的な地域づくり。災害発生時には迅速な対応による早期復旧。安心・安全で豊かな地域社会を支えること、それが関東地方整備局の使命と仕事内容です。

東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、栃木、茨城、山梨、長野という1都8県、日本の4割近い人口・資産が集中するエリアを管轄しています。安全・安心な生活を守るため、日々、維持管理を適切に行い、より豊かな社会を作るため、新たな事業を実施していくのが関東地方整備局の役割です。調査・計画、設計から実際の工事に至るすべてのプロセスにおいて、地元のニーズや地域の課題をふまえながら関係機関との調整を行い、道路や河川等の整備を進めています。

## ② 倫理保持に関連する取組の概要

- コンプライアンス・ミーティングの実施
  - ・ 高知県内における入札談合事案の再発防止策の一つとして、全地方整備局がコンプライアンス・ミーティングを行うこととなっています。公務員倫理の他に発注者綱紀保持、ハラスメント、情報セキュリティなど職員に身近な問題をテーマとして、四半期に1回以上、職員相互間での意見交換を実施しています。実施にあたっては、適宜所属横断的（事務所等・課混合、役職・階層・職種別等）に職員を組み合わせる等の工夫を施しています。
- コンプライアンスの日の取組
  - ・ 毎月最初の勤務日を「コンプライアンスの日」と位置づけ、倫理を含めたコンプライアンスに関連した簡易セルフチェックや公務員の不祥事等事例をPC起動時にポップアップ等で掲載し意識啓発を図っています。簡易セルフチェックについては、正答率の低い設問には解説資料を作成、提供することで、職員の理解がさらに深まるように努めています。
- 地方公共団体に対する国家公務員倫理法等への理解及び協力依頼
  - ・ 関係地方公共団体職員に対して、利害関係者との間での禁止行為について、機会あるごとに局長名の文書を提示する等により、倫理法等への理解を促し、協力依頼を行っています。

## ③ ②に記載した倫理保持に関連する取組の目的及び効果

- コンプライアンス・ミーティングの実施
  - ・ 円滑なコミュニケーションを図ることにより、常に情報を共有して組織で課題を解決
  - ・ 誰とでも相談できる風通しのよい魅力ある職場づくりを推進
  - ・ 職員個人ではなく、組織で不正防止に取り組む風土を醸成
- コンプライアンスの日の取組
  - ・ 毎月1回負担感の少ない簡易的な取組を実施することにより、職員のコンプライアンスの意識向上を図る
  - ・ 簡易セルフチェックで正答率の低い設問については、補足説明等を行うことにより、理解度の向上を図る
- 地方公共団体職員に対してあらかじめ利害関係者との間での禁止行為の理解を促すことで、特産品の持参等の自粛を促す

## ④ 職場のPR内容

- 関東地方整備局では、職員のやりがい向上や成長促進につながる組織風土を形成し、国民目線に立った行政サービスを提供することを目的に風通しの良い魅力ある職場づくりの取組を推進しています。
- 河川、ダム、砂防、海岸保全などのハード整備、そして河川整備計画や環境保全など様々なソフト対策を通じて、人々の生命や財産を守り、水と緑と共生する幸せを提供します。
- 国道等の広域的な幹線道路網の整備や維持修繕、都県道等に対する支援などを通じて、人・モノの流れを生み出し、関東全体の社会、経済を元気にします。
- 国民生活の安定や国際競争力を高めるために、先進的で信頼性の高い人流・物流のインフラ整備、貿易ネットワーク拠点の整備を進めます。
- 国民の共有財産である官庁施設、教育、研修施設などの企画、設計、工事監理、保全指導を通じて、公共建築分野において常に先導的な役割を果たしています。
- 大規模自然災害時に現地に飛び、被災地の復興を技術面でサポートします。
- 最新の情報通信技術とネットワークで国土交通行政を支えています。
- 自治体の再開発や都市計画の支援を通じ、安全で快適で活力のある街づくりやすまい、憩いの場をつくっています。